

J A常陸 大宮地区 枝物部会における 『 **おくくじ えだもの 奥久慈の花桃** 』 生産

いはらきの里山が育てた 奥久慈の花桃 はなもも

～常陸大宮から、ひと足早い“春”をお届け～  
木肌がきれいな若い一年枝を、一束一束、丁寧に包装  
アレンジのしやすさが、市場からも高く評価

\*花桃を中心に、**約200種類**の枝物を生産  
⇒ 種類が豊富なことから、使う人のニーズ  
に合わせての栽培出荷も市場から評価

**季節を彩る「奥久慈の枝物」**

- ひと足早い春の訪れ (1月～3月) 花桃, 桜, 花梅, …
- 初夏から初秋へ (4月～9月) ブルベリー, 夏ハゼ, …
- 秋から冬の訪れ (10月～12月) 染め柳, カゴ水木, …

～多くの家庭で「桃の花」を飾る習慣～

はなもも  
「花桃」のいわれ

古来より、桃の節句に飾る桃の花には、子供の成長を  
祝うほか、邪気を祓い取る力があるとの言伝え

≪ 長寿や 魔除けのパワー ≫

1 J A常陸大宮地区 枝物部会における取組

～4支部～

- 緒川・御前山・美和 支部
- 大宮・山方 支部
- 大子 支部
- 太田 支部

～H29 現在～  
約100戸  
約40ha

全国的にも類を見ない若々しい1年枝で出荷

夏季に芽摘みし側枝を増やしボリュームアップ

集中一元管理 ⇒ 品質の向上・均一化を実現



2 関係機関との連携による事業展開

- 促成施設 (暖かい環境での開花) ⇒ 需要時期での出荷
- ブランド化への取組 ⇒ (魅力を伝える) パンフレット
- 市場からの多種多様な要望への対応 ⇒ 産地の拡大

